

Top Interview

— 変革に挑む —

まとめ／堀水潤一 撮影／平山 諭

学生の「変わりたい」 「成長したい」という気持ちに 寄り添い、応援したい

ファッション、きもの、調理師、栄養、製菓の5つの専門学校を運営する学校法人織田学園は、1947年の創設以来、衣・食の分野の第一線で活躍する多くの卒業生を輩出してきました。創立70周年を迎えた今、そうした卒業生とのつながりを、より緊密にしていきたいと考えています。折しも昨年、各校に置かれていた就職センター等の部署をキャリアセンターとして一元化しました。そこを中心に、在校生と卒業生、教職員と卒業生、さらには卒業生同士が交流を深める場を構築。衣や食という分野を超え、織田ファミリーとしての一体感を醸成したいのです。

在校生にとっては業界の生の声を

聞くチャンスが増えることになりましたし、卒業生にとっては常識にとらわれない発想に触れる刺激的な機会となるでしょう。卒業生が経営するアパレルショップや飲食店に足を運ぶとポイントが溜まるようにすることで輪が広がっていく。そんな仕組みを検討しているところです。

同様に、アパレル産業や外食産業などとの産学連携ほか、さまざまな業界の企業や団体とのコラボレーションも継続して力を入れていきます。メディアや金融機関の方から時勢や経済情勢を聞く場を設けているのも、専門以外に見識を広げることが職業人としての強みになると考えているから、専門学校として実学を中心に据える

のは当然として、物事を広く、深く考える力を身に付けてほしいのです。

学園の創設者である母、織田稔子は、自作の服を着て外出した際、「素敵ね」と声を掛けていただいた人に対して、「私でも作れるのだから、あなたにも作れますよ」と答える人でした。学生に対しても、「やる気さえあれば何でもできる」というメッセージを発信し続けていました。

私も同じ気持ちです。誰であれ、変われるし、輝くことができます。幸い、私たちの学校には、進路選択に際して周囲に流されることなく、「好きなことをやりたい」という強い意志をもって入学を決めてくれた学生が大勢います。しかし、入学後、限界を感じ、悩んでしまっている学生もいます。そうした若者に私は「限界などない」「可能性は100%」と伝えるようにしています。世間では暗いニュースばかり流れ、内向きになるのも無理ありません。しかし、「自分はこれまでの人間」と決めつけてしまっただけは何も生まれません。何より面白くありません。織田学園が目指すのは、「変わりたい」「成長したい」という学生一人ひとりの気持ちに寄り添い、その気持ちに応えることです。

学校法人織田学園 理事長 鈴木貴子



【理事長プロフィール】すずき たかこ ●西武百貨店勤務、織田ファッション専門学校教務部長、織田製菓専門学校校長などを経て2008年より現職。14年に織田きもの専門学校学校長、15年に織田ファッション専門学校学校長に就任。

【学校法人プロフィール】1947年文化洋裁教室を創設。現在、織田ファッション専門学校、織田きもの専門学校、織田調理師専門学校、織田栄養専門学校、織田製菓専門学校の5つの専門学校のほか、おだ認定こども園を運営。